○沼津市下水道ビジョン2025-2034におけるアクションプログラム

（ロードマップ）

基本理念	基本方針	施策名		取組項目	成果指標	現況値(R6当初)	目標値 前期(R7～R11)	目標値 後期(R12～R16)	取組方針	前期スケジュール R7	R8	R9	R10	R11	後期スケジュール R12	R13	R14	R15	R16
清潔で快適な暮らしを支える下水道	1 下水道整備の促進	1-1 未整備地区の解消	①	汚水処理の推進	汚水処理人口普及率(%)	90.6%	94.2%	95.0%	静岡県生活排水処理長期計画に基づき、汚水処理の概成を目指す普及を促進させる。					94.2%					95.0%
				下水道整備の推進	下水道処理人口普及率(%)	62.9%	66.5%	69.5%	年0.6%上昇を目標に整備を進める。					66.5%					69.5%
		1-2 計画区域等の見直し	②	下水道全体計画区域の見直し	検討完了	H29区域縮小(1,130.53ha)	-	検討完了	人口減少や社会的なトレンドを踏まえて、より深い検討を行う。									検討完了	
			③	処理場の再構築・統廃合を含めた処理区域の見直し	検討完了	継続検討中	検討完了	-	人口減少や社会的なトレンドを踏まえて、より深い検討を行う。				検討完了						
	2 安全・安心な暮らしの実現	2-1 管路施設の耐震化	④	西部処理区(大岡、門池、金岡地区他)の管路施設の耐震化の実施(6、7、8、9処理分区)	耐震化実施率(%)	49%	100%	-	現処理分区が完了次第、次の処理分区を実施していく。	・耐震化工事			100%						
			⑤	管路施設の耐震化計画の策定	計画策定・実施	-	計画策定	計画に基づき実施	④が前期で完了。新たに計画を策定し対策を実施する。				・計画策定	・計画に基づき実施					
		2-2 処理施設の耐震化	⑥	中部浄化プラントの耐震化	耐震化実施	-	汚泥脱臭棟の耐震化	-	⑲の長寿命化対策工事に合わせて汚泥脱臭棟を耐震化する。	・詳細設計		・耐震化工事							
			⑦	処理場等の耐震化計画の策定	計画策定・実施	-	計画策定	計画に基づき実施	⑥が前期で完了。⑳の計画を基に本計画を策定し対策を実施する。				・計画策定	・計画に基づき実施					
		2-3 災害対策体制の強化	⑧	沼津市下水道事業継続計画(沼津市下水道ＢＣＰ)の強化	下水道BCPの更新	毎年度更新	毎年度更新	毎年度更新	随時、下水道BCPを更新し、災害に備える。	・下水道BCPの更新									
			⑨	非常時対応訓練の実施	訓練の実施	毎年度実施	毎年度実施	毎年度実施	毎年度訓練を実施し、災害に備える。	・訓練の実施									
			⑩	処理場等の耐水化計画の策定	計画策定・実施	検討中(中部浄化プラント)	計画策定	計画に基づき実施	ストックマネジメント進捗状況及び耐震化計画を踏まえ、計画を策定し対策を実施する。				・計画策定	・計画に基づき実施					
	3 下水道施設の適切な管理	3-1 管路施設の維持管理	⑪	中部処理区の管路の長寿命化対策の実施	改築更新率(%)	71%	100%	-	ストックマネジメント計画に基づき対策を実施し、完了後は他処理区の対策に取り掛かる。	・長寿命化工事				100%					
			⑫	内浦処理区の管路の長寿命化対策の実施	改築更新率(%)	0%	40.0%	80.0%	ストックマネジメント計画に基づき対策を実施する。	・長寿命化工事				40%					80%
			⑬	中部処理区のマンホール鉄蓋の長寿命化対策の実施	改築更新率(%)	76%	100%	-	ストックマネジメント計画に基づき対策を実施し、完了後は他処理区の対策に取り掛かる。	・長寿命化工事		100%							
			⑭	西部処理区(第五地区他)のマンホール鉄蓋の長寿命化対策の実施	改築更新率(%)	24%	100%	-	ストックマネジメント計画に基づき対策を実施し、完了後は他処理区の対策に取り掛かる。	・長寿命化工事			100%						
			⑮	管路施設の長寿命化対策の実施	計画策定・実施	-	計画策定	計画に基づき実施	⑪⑬⑭の更新が前期で完了。新たに計画を策定し対策を実施する。	・調査				・計画策定	・計画に基づき実施				
			⑯	管路施設の点検調査の実施(腐食環境下)	点検(km/5年)	8.6km(R3実施)	8.7km	8.7km	管閉塞等事故を未然に防ぐため、点検調査を実施する。	・点検					・点検				
					調査(km/10年)	8.6km(R3実施)	-	8.7km							・調査				
			⑰	西部処理区の不明水対策の実施	対策実施	-	対策実施	対策実施	範囲を絞り込み、対策を実施する。	・調査、検討、計画、対策実施									
		3-2 処理施設の維持管理	⑱	中部浄化プラント水処理施設の長寿命化対策の実施	改築更新率(%)	70%	100%	-	ストックマネジメント計画に基づき対策を実施する。	・長寿命化工事			100%						
			⑲	中部浄化プラント汚泥処理施設の長寿命化対策の実施	改築更新率(%)	0%	100%	-	ストックマネジメント計画に基づき対策を実施する。			・長寿命化工事	100%						
			⑳	処理場等の長寿命化対策の実施	計画策定・実施	-	計画策定	計画に基づき実施	⑱⑲の更新が前期で完了。新たに計画を策定し対策を実施する。				・計画策定	・実施設計	・計画に基づき実施				
			㉑	処理施設の点検・メンテナンスの実施	法定水質基準遵守率(%)	100%	100%	100%	処理施設を正常に機能させるために、日頃から施設の清掃や機器点検、及び適切な運転管理に努める。										
			㉒	新たな官民連携方式の検討	導入検討・実施	-	検討完了	検討結果に基づき実施	検討を行い、導入を目指していく。	・検討、導入準備			・導入						

基本理念	基本方針	施策名	取組項目		成果指標	現況値(R6当初)	目標値 前期(R7～R11)	目標値 後期(R12～R16)	取組方針	前期スケジュール R7	R8	R9	R10	R11	後期スケジュール R12	R13	R14	R15	R16
清潔で快適な暮らしを支える下水道	4 持続可能な経営の実現	4-1 収入確保対策	㉓	下水道接続の促進	水洗化率(接続率)(%)	87.8%	88.3%	88.8%	工事説明会や戸別訪問を行うことで、水洗化率の向上を図る。					88.3%					88.8%
			㉔	下水道使用料収納率の向上	収納率(%)	97.7%	98.2%	98.7%	滞納処分の導入や臨戸徴収を実施し収納率の向上を図る。					98.2%					98.7%
			㉕	適正な使用料の検討	経常収支黒字	経常収支黒字	経常収支黒字	経常収支黒字	社会経済情勢の変化等を踏まえ、適時適切な使用料の検討を行う。										
		4-2 経費削減対策	㉖	新たな経費削減策の検討・実施	新規削減策実施(件/年)	1件	1件以上	1件以上	今後の必要経費の増加が見込まれるため、あらゆる視点で経費削減に努める。										
		4-3 広報活動の推進	㉗	SNS等による広報活動	情報発信(回/年)	12回以上	24回以上	24回以上	下水道に関する理解を深めるため、SNSや市ホームページ等による情報発信を実施する。										
			㉘	工事説明会の実施	実施率(%)	100%	100%	100%	下水道に関する理解を深めるため、各工事の関係住民を対象にした説明会を実施する。										
			㉙	イベントでのＰＲ活動、啓発活動	実施回数(回/年)	3回	3回以上	3回以上	下水道に関する理解を深めるため、施設見学会等のイベントを通じた啓発活動を実施する。										
		4-4 お客様サービスの充実	㉚	人材育成・技術継承の推進	研修・勉強会の参加延人数(人/年)	80人	100人以上	100人以上	様々な研修や勉強会に参加し、人材育成・技術継承の推進を図る。										
			㉛	下水道情報管理システムの保守・更新等	システム通年稼働	通年稼働	通年稼働	通年稼働	各種情報を電子化したシステムを活用し、迅速な対応を行う。										